

# 心理学的・生理学的効果から見たスポーツウェア機能デザインの最適化

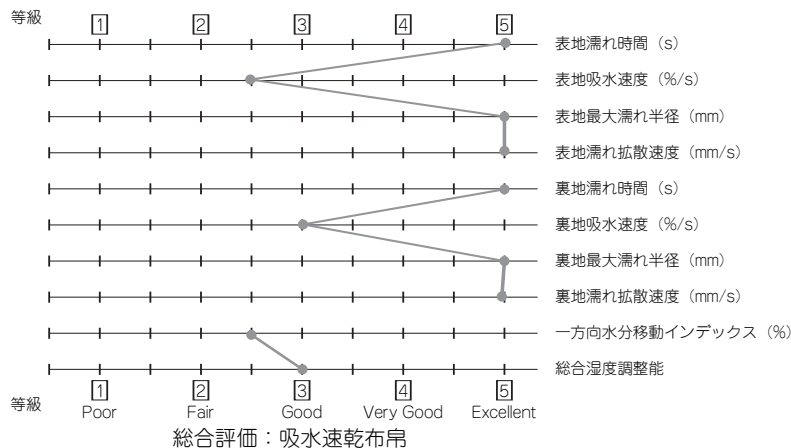
研究代表者 大妻女子大学 梶原 莞爾

現在、様々な機能を持つ素材が商品化されています。このような素材はスポーツウェアの開発という面からも重要で、特に吸汗速乾素材はウェアの快適性を考えた場合、利用価値の高い素材であるといえます。本研究では、このような機能性素材から期待される効果が、スポーツウェアにおいて十分に生かされているのか、という点にフォーカスを当てて検討したものです。

吸汗速乾素材は、単独使用ではスポーツ用快適素材として優れた効果を発揮することが期待されますが、上着と下着を重ねて着用するような場合には、両者の間に生じる空気層の影響を考慮する必要があります。たとえば吸水性素材を下着として使用した場合には、吸収した水分が空気層のために衣服内に留まり、それが不快感と結びつくような場合が出てきます。つまり上着、下着を独立に設計するのではなく、重ね着によって生じる中間空気層を含めて、トータルな視点からスポーツウェアの設計をしなければならないということが、この研究で強調されています。



吸汗速乾素材素材のスポーツウェアは、重ね着による影響を考慮してトータルな視点から設計しなければならない



野球用上着布地の湿水分移動特性：布帛の指紋